

中国・北京のカスタムカーイベント 「ALL in TUNING 2015」に 当振興会会員が出展

2015年6月12日～14日

6月12日～14日の3日間にわたり中国・北京で行われたカスタムカーイベント「ALL in TUNING 2015 (AIT Show2015)」(主催・雅森国際)に当振興会会員が出展しました。

今年で4回目の開催となったAIT Show。昨年は83社・展示車両180台の出展規模で、3日間で約3万人の動員を実現しました。

AIT Showは今回から三栄書房社が特別後援としてサポートしており、会場内は“本場”の雰囲気を感じられる展示が目につきました。そうした中、当振興会からはアクレ、アサヒライズFET事業部、エンドレスアドバンス、エムケーカシヤマ、ケミテック、ディクセル、テイン、ブリッドが出展し、会期初



日から詰めかけた多くの来場者に、日本のチューニングパーツをアピールしました。

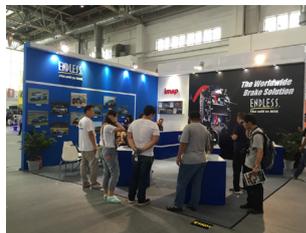
また、新たに設けられた「東京オートサロン特別展示ゾーン」には日本から車両2台(ZERO-1000のS2000、JUNオートメカニックのR35GT-R)が持ち込まれ、パフォーマンスやクオリティはもとより、高い安全性を保持する日本のチューニングカーを、多くの来場者にアピールしていました。

なお、このAIT Showに合わせて主催者から事務局に講演依頼があり、日本のチューニング業界について講演を行いました。

●当振興会会員関係出展



アクレ、ケミテック



エンドレスアドバンス



ディクセル



テイン



アサヒライズ、エムケーカシヤマ、ブリッド



ZERO-1000のカスタムカー



日本企業の現地代理店の出展風景

日本のチューニング市場について当振興会事務局が講演

ALL in TUNING 2015の会期初日に行われた講演会では、当振興会の植草正拓事務局長が壇上に立ち「日本のチューニング業界は如何にして政府行政規制の中に生存空間を求めてきたか」をテーマに講演を行いました。

当日は日本国内のチューニング市場やNAPACの活動、行政との関係等について通訳を交えてスピーチしました。



なお講演終了後は中国国営テレビ(CCTV)からの取材を受け、日本のチューニング市場の健全性やNAPACの役割等についてアピールしました。